



地域まるごと読書支援モデル事業

## 「まちなか司書」が活動中



本を入れる専用袋

保育園に本を届け、読み聞かせも行う、まちなか司書の遠藤隆子さん



図書館大曲分館に所属し、地域に向いて読書活動を支援する「まちなか司書」が活動中です。今年から市教育委員会が始めた「地域まるごと読書支援モデル事業」の一環。幼少期から中学生までの子どもたちが読書に親しめるよう、成長に合わせて支援をすることが目的です。モデル事業として、子どもの多い大曲地区で始めることになりました。

今年度は6月から隔週で、大曲小学校と大曲東小学校への巡回を開始。図書室で子どもたちの相談に乗ったり、お勧めの本コーナーを設置したりするなど、読書への関心を高める環境を整備します。また、授業で使う本を取り寄せたいという教諭からの要望にも対応していきます。

9月から、大曲地区の保育園と認定こども

園に通う園児と保護者に絵本などを貸し出す「K.o・T.u・B.u」も開始しました。登録時に本の希望を聞き取り、それに合わせて図書館が選んだ本を専用の手提げ袋に入れて園に届けます。日ごろ、図書館に通う時間が取れない保護者も、送り迎える時に本を借りることが出来ます。「読書で家族のコミュニケーションを深めていただきたいです」と担当の図書館職員。「K.o・T.u・B.u」が始まった大曲いちい保育園では、司書から受け取った本が気に入って、その場で一緒に読み始めた親子もいて、好評だったそうです。来年4月から小学校・保育園などに、通年で実施します。

事業を通して、多くの子どもたちが本に親しみ、読書好きになると良いですね。



## まめ記者

き・た・の・だ・い



北の台小学校6年 吉田結衣さん (児童会長)

私がお勧めする北の台小学校の良いところを紹介します。

一つ目はあいさつです。私たちは1年を通して全校であいさつ運動に取り組んでいます。地域の方から「あいさつがいいね」と褒められることもあります。私たちが書記局は今よりもっとあいさつが良い学校を目指してという話し合っています。

二つ目は協力です。協力する機会はいろいろありますが、北の台小学校ではレインボーTK祭という行事があり、3、4、5、6年生がお店を出し、全校児童で交流するというものです。みんなが楽しめるお店になるように、協力して準備を進めています。

「きれいな、の、しい、だ、れとでもあいさつ、いつでも笑顔」をスローガンに頑張っています。



レインボーTK祭